

研究連携加速

東工大・独アーヘン工科大

先端材料やナノファイバ
ー分野で、東工大とドイツ
のアーヘン工科大との連携
が進みそうだ。都内で開か
れた次世代複合材料・先端
繊維に関するセミナー（独
NRWインベストとNRW
ジャパン共催）で、講師と
なった東工大大学院の谷岡
明彦教授（高分子構造・織
維物性）と、アーヘン工科
大繊維技術研究所のトーマ
ス・グリース教授はとも
に、同分野での協力を期待
を表明した。

両大学はすでに大学間の

先端材料・ナノファイバ分野

協力協定を結び、金属工学
などでの研究連携が先行。
谷岡教授は「アーヘン工科
大は繊維のメカニカルな技
術で優れている。連携の具
体的な段取りは未定だが、

東工大の材料技術と組み合
わせれば大きな発展につな
がるだろう」と話した。
一方、グリース教授は学
生・研究者の交換留学を手
始めに、「来年には両大学

の協力関係が急速に進
むと確信している」と
強調。とくに東工大の
ナノファイバ研究
や、耐薬品性、耐熱性
に優れる素材として注
目されるポリフッ化ビ
ニリデン（PVDF）
関連の研究に関心があ
るといふ。



谷岡教授（左）とグ
リース教授

ース教授